

2025年3月21日

報道機関各位

学校法人 塚本学院

大阪芸術大学

大阪芸術大学×株式会社サイエンス 産学連携プロジェクト
放送学科の学生が創る「EXPO2025 サイエンス大博覧会」PR サイト、
独自視点で企業展示の魅力を発信！

■サイエンスのイベント日程（予定）①8/6～9 ②10/1・2

大阪芸術大学（学校法人 塚本学院／所在地：大阪府南河内郡／学長：塚本 邦彦）は、ファインバブル技術で新しい価値を生み出し、創業以来の経営理念「すべての人々に感動と喜びを与え続ける」ことを使命とする株式会社サイエンス（取締役会長：青山 恭明、本社：大阪府大阪市淀川区）との産学連携プロジェクトとして「EXPO2025 サイエンス大博覧会」のPR サイト（<https://oua-bcast.studio.site/>）を制作いたしました。



本サイトは大阪・関西万博「大阪ヘルスケアパビリオン」で展示される、サイエンスの企業展示の魅力を、学生たちの視点から独自に取材・編集した特別なコンテンツです。動画、マンガ、アニメ、AI、さらには宇宙飛行士への取材など、さまざまなコンテンツが盛りだくさんに制作されています。

本取り組みは、放送学科 先端メディアコミュニケーションコースの授業の一環で、リアルな企業の広報・宣伝活動に真剣にトライしてみようというもの。4年ほど前から、2025大阪・関西万博の「共創チャレンジ」に正式登録し、さまざまな協賛・サポート企業との広報チャレンジをしてきました。万博がまもなく開催される今期こそ、多くの方々に万博の醍醐味や科学技術の素晴らしさを知っていただくために、多くの関係者の方々のご協力を得て実現できました。

大阪芸術大学では音楽やデザイン、コミュニケーションなど各分野の第一線で活躍されている先生から学べる環境を提供することで、学生たちの新しい可能性をこれからも広げていきます。本サイトを通じて、ミライの先端技術に興味を持っていただけましたら、是非 EXPO2025 にてサイエンスのまさに「SCIENCE！」を実際に体験してみてください。

■授業概要

長年、広告づくりやコンテンツづくりをしてきたクリエイティブ・ディレクターやプロデューサー、マーケッターなどの実務系教員から、リアルな現場を学んでもらう授業。実際の企業や団体から正式にオリエンを受け、コンセプト開発から表現を企画しプレゼン。机上では終わらない社会実践に近い授業をしています。

実施期間 : 2024年4～2025年1月

参加者 : 大阪芸術大学 放送学科 33名

指導教授 : 榊原廣 教授、有澤卓也 客員教授、鈴木雄介 教授

■学生の声

<大森彩加さん 放送学科 先端メディアコミュニケーションコース 2年生>

気分は大学生というより「働く大人の先取り」でした。企業や学外の公共施設とも連携し、先生を通じてではなく「自分たちで関わりに行く」機会も多かったです。世の中に発信されるものであり、相手は学生ではなく大人の方なので、何か要求をしたり、作品にしたりするときはかなり緊張しました。「不快にさせないだろうか、上手く伝わるだろうか」とビクビクしながらメールや電話でやりとりをすることも多く、そのたびにマナーを調べて乗り切って、の繰り返しでした。大変だったからこそ、制作者として名前や写真が載った時には「自分もこのサイト制作に関わった一員なんだ」と誇らしく、そして嬉しくなります。

■サイエンスブースのイベント日程（予定）

① 8月6日（水）～9日（土）

② 10月1日（水）～2日（木）

※現段階での日程は上記の通りになっていますが、まだ内容が決まっていません。決定次第、内容を告知してまいります。いま暫くお待ちください。

■大阪ヘルスケアパビリオンについて



Osaka
Healthcare
Pavilion
Nest for Reborn

大阪・関西万博の開催目的を踏まえ、大阪は、オール大阪の知恵とアイデアを結集させ、訪れた人々が「いのち」や「健康」、近未来の暮らしを感じられる展示を実現するとともに、大阪という都市の活力・魅力を世界のより多くの人々に伝えていきます。誰もがわくわくしながら、驚きや新たな発見に満ちた感動が味わえるとともに、参加型のパビリオンとして、体験や共創を通じて、深く心に記憶され、新たな行動につながるようなパビリオンをめざします。

<https://2025osaka-pavilion.jp/>